

第 3 期荒尾市観光振興計画(仮称)のコンセプト(案)

「観光振興の意義」を踏まえ、今後本市が目指す観光振興の方向性を具体化し、共有するため、「第 3 期荒尾市観光振興計画(仮称)」におけるコンセプトを設定する。

コンセプトの設定に当たっては、本市の強みや市場ニーズを反映した内容にするとともに、地域の中で共有・共感されやすいよう、覚えやすくキャッチーなフレーズを検討する。

(1) 本市の強み

これまでの調査結果等を踏まえ、本市の観光資源における強みについて、以下のとおり整理する。

・ファミリー層や若者グループに人気のスポット、施設がある

年間約 100 万人を誘客するグリーンランドがあり、ファミリー層や 10・20 代の若者グループの来訪が多く、リピート率も非常に高い。また、子ども科学館や梨のもぎ取り・販売、荒尾干潟など、ファミリーや若い女性を中心に来訪意向の高いスポットがある。

・荒尾干潟という象徴的な資源があり、独自性のあるプログラム開発が進む

本市における象徴的な資源である荒尾干潟においては、マジャク釣りやテラー乗車体験など独自性のある体験プログラムの開発や、体験型観光への関係者の理解の醸成が進んでいる。マジャクや海苔については独特な漁法や産業としての歴史などのストーリー性がある。

・世界文化遺産に登録された万田坑があり、広域的な取組みも進む

荒尾市の人々の暮らしや産業にも多大な影響をもたらした歴史的なストーリー性がある。広域的な周遊促進の実績もあり、写真などの被写体としても注目度が高まっている。

・刀剣や茅葺屋根など、日本的で地域性のある資源・プログラムがある

松永日本刀剣鍛錬所や、ユネスコ無形文化遺産に登録された茅葺屋根を有する宮崎兄弟の生家など日本特有の文化や体験を伝えられる資源があり、訪日客の誘客においても可能性がある。

・知的好奇心をくすぐる自然・文化・歴史資源。最新テクノロジーの活用にも取り組む

荒尾干潟や万田坑などにおいてガイドツアーが充実しており、豊かな自然や漁業、食文化、歴史や産業について学ぶことができるなど、知的好奇心をくすぐるスポットとなっている。子ども科学館における展示やスマートシティにおける取組みなど、最新テクノロジーを活用したプログラム造成に向け、関係者の理解の醸成が進んでいる。

・マジャクや梨、お好み焼きなど、荒尾ならではの食資源がある。

マジャクは食資源としても独自性があるほか、荒尾梨はブランド化しており、贈答品としても定着している。お好み焼きはご当地グルメとして展開できるだけのストーリー性がある。

・道の駅をはじめとする交流拠点の形成に取り組む

南新地地区において設置を計画している道の駅においては、体験プログラムや宿泊施設等に関する情報発信・コンシェルジュ機能のほか、地区内の周辺施設とも連携した交流・周遊促進や心と身体健康増進に向けた拠点としての機能の充実を検討している。

(2) 市場ニーズ

これまでの調査結果等を踏まえ、市場ニーズについて、以下のとおり整理する。

・「おいしいもの・食」を求めて観光に行く

観光に「おいしいもの・食」を求める人が約9割で、特に“若い女性”でその傾向が強い。ビジネス客においても、訪問地で食を楽しみたい人が7割以上いる。

その土地ならではの食へのニーズがみられる。

・「癒しやすらぎ、日常からの解放」を観光を求める人も多い。若い層は「ワイワイ楽しみたい」

観光に「癒しやすらぎ、日常からの解放」を求めるニーズも食に続いて多い。若い世代では「ワイワイ楽しみたい」ニーズも多い。

・ウィズコロナ・アフターコロナの観光ニーズ

ウィズコロナにおいては、観光をする場合でも「県内・近隣県」に「自動車」で、というニーズが高く、マイクロツーリズムへの志向がみられる。アフターコロナでも、「地方」に「自動車」で、観光したい層が一定数みられる。

(3) コンセプト(案)

興奮×癒し×感動 を体感！ ARAOne ツーリズム

【コンセプトに込めた意図・狙い】

① 「興奮」…ワイワイ楽しめる

本市には、若い世代においてニーズが高い「ワイワイ楽しめる」体験を提供するグリーンランドがあり、本市への誘客を牽引している。ワイワイ楽しめる体験の“キラーコンテンツ”として、年間100万人の誘客がある。加えて、荒尾干潟でのマジック釣り体験やテラー乗車体験など、ほかのスポットにおいても「ワイワイ楽しむ」体験ができる。

② 「癒し」…のんびりリラックスできる

荒尾干潟や小岱山といった海や山の大自然、四山神社や野原八幡宮などの寺社、飲食店やカフェなどにおいて、本市ならではのリラックスした時間や食などを体験できる。

③ 「感動」…知的好奇心が満たされる

明治の産業革命の技術的な革新や当時の暮らしを知ることができる万田坑や、干潟の生態や海の不思議を体験できる荒尾干潟、日中友好の歴史や日本文化を体験できる宮崎兄弟の生家、デジタル技術やデジタルアートを体験し自ら創造できる子ども科学館など、知的好奇心・探求心をくすぐる体験をすることができるスポットがある。

④ 「ARAOne(アラワン)ツーリズム」…ARAOne + OnlyOne・OneTeam

①～③の魅力は、本市ならではの資源や素材、ストーリーを活かしたものであり、ここでしかできない「オンリーワン」な体験である。1つ1つの施設や体験をさらに魅力的で誘客力のあるコンテンツとするとともに、それらの施設や体験が線・面でつながり、地域全体としての魅力と感じてもらえるよう、観光事業者や観光関連事業者、観光公共組織、市民、市が一体(=One Team)となって観光地域づくりに取り組む。